

甲突川

こう つき がわ



甲突川源流（甲突池）



「甲突池」は平成の名水百選に認定され、親水公園として整備されています。まわりには広大な棚田が広がっています。

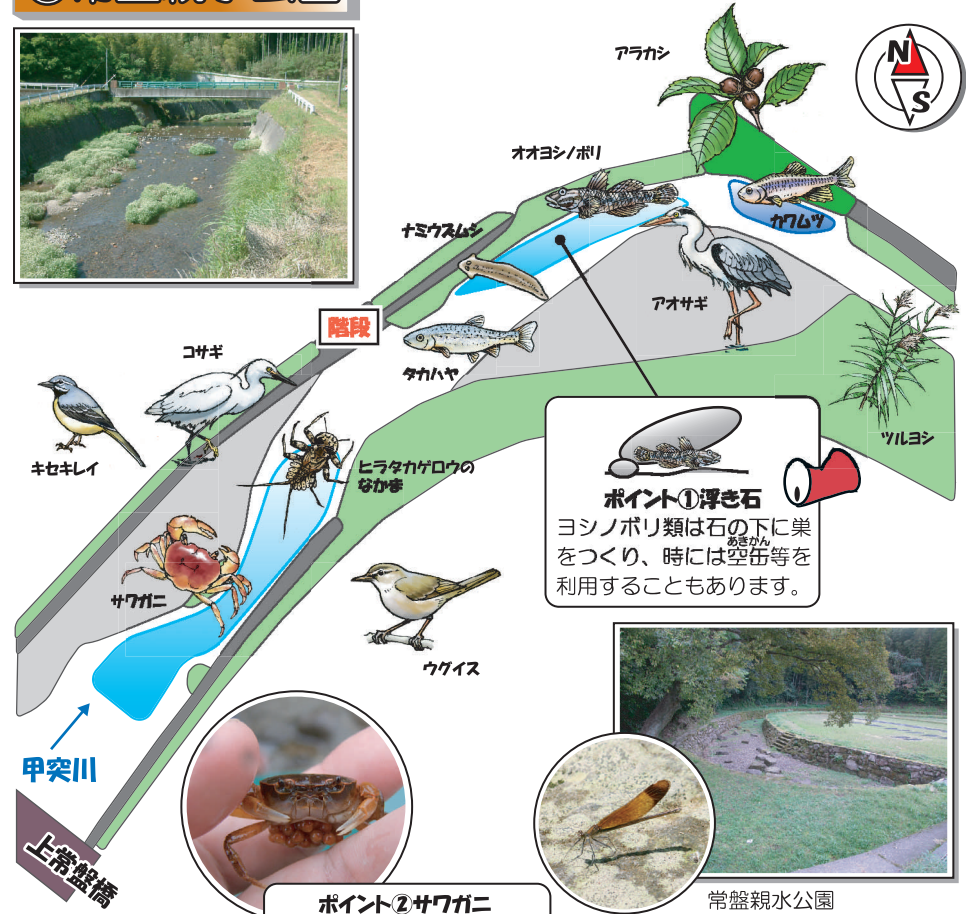
甲突川データ

- 源流：郡山町（八重山）
- 長さ：約23.5km
- どこを流れているの？
郡山町、小山田町、伊敷町、甲突町など

甲突川は薩摩川内市との境にある「八重山」から流れ出て、主に市内の中心部を流れ、鹿児島湾にそそぎます。甲突川には3つの浄水場・取水場があり、市民の水がめとして広く活用されています。また河頭付近では水力発電も行われています。

③常盤親水公園

凡例	早瀬	淵	止水
草地	樹林	裸地	構造物



ポイント①浮き石
ヨシノボリ類は石の下に巣をつくり、時には空缶等を利用することもあります。



ポイント②サワガニ
きれいな水にいます。心化するまで卵を守ります。



常盤親水公園
日本のカワトンボのなかまでは最大のミヤマカワトンボが確認されました。

●常盤親水公園付近の環境について（甲突川上流）

のどかな田園地帯を流れ、一部自然河岸も残されています。巨石の間には溪流に多いサワガニやカゲロウ類が見られ、水際のツルヨシ群落には冷水性のタカハヤがいます。早瀬ではオオヨシノボリが確認されており、産卵場として利用されている可能性が考えられます。